


村越 功司

むらこし こうじ / Murakoshi Koji

<p>所属・役職</p>	<p>浜松市デジタル・スマートシティ推進課 デジタル庁（兼業）</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>全国どこでも</p>	
<p>略歴</p>	<p>1998年 明治学院大学大学院社会福祉学科博士前期課程修了、修士（社会福祉学） 1998年 浜松市役所入庁（福祉・情報システム・行革・デジタルを転々） 2021年 デジタル庁出向 2026年現在 浜松市本務（デジタル庁兼務）</p>	
<p>こんなことを 支援できます</p>	<p>① <u>デジタル人材の育成・確保</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DXとかやたら言うけど、結局最後は「人」だと思いませんか？ ・ 職員のマインドや組織のカルチャーはそのままで「DXを推進します！」とか簡単に言うけど、それで本当にうまくいくと思いますか？ ・ 倦まず弛まず諦めず、地道に人を育み、組織の中で根付かせ、組織文化を変えていくのが、結局「生き残るための早道」だと思っています。 ・ はじめるなら「いま」です。 <p>② <u>窓口改革（書かないワンストップ窓口）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員がラクになるのは悪いことですか？ ・ 住民のサービス向上のためなら職員が犠牲になっててもしょうがないって窓口を、本当にこれからも続けますか？（続けていけますか？いったい誰がそれをやるんですか？やってくれる人、確保できますか？） ・ 変えるなら「いま」です。 <p>③ <u>データ利活用（自治体 EBPM）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勘と経験と思いつき。そして大きな人の声。いつまでそれで意思決定や政策判断をしますか？ ・ 人口減少社会にそれで立ち向かっていけますか？（怖くないですか？） ・ エピソードベースからエビデンスベースへ。 ・ 脱皮するなら「いま」です。 	
<p>自治体向け メッセージ</p>	<p>自治体職員だけで、これだけ複雑で多様で、しかも変化の速い世の中に、がんばって対応していくのはもうしんどいし「ムリゲー」と思っています。スーパー公務員なんていないし、なる必要もないと思っています。泣き言を言ってみんなに助けをもらいながら、ともに考えともにつくっていく。そんな感じでまちづくりができればいいなと思っているおじさんです。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

プ プロジェクトマネジメント支援 **EB** E B P M **オ** 行政手続オンライン化

<地域情報化に関する実績>